

平成28年度 一般財団法人たかのす福祉公社 事業報告書

一般財団法人たかのす福祉公社

本事業報告は平成28年4月1日から平成29年3月31日までの期間を対象としている。また、当期においては、平成27年度事業報告及び決算処理（公認会計士による会計監査、監事による会計及び業務監査含む）、公益目的支出計画実施報告等の重要手続きについては、滞りなく事務処理を進めることができた。

I 法人の概況

- 1 設立年月日 : 平成10年12月24日設立
(平成24年10月1日付、一般財団法人たかのす福祉公社として移行登記)

2 定款に定める目的及び事業

当法人は、ノーマライゼーションの理念に基づく豊かな地域社会の形成に寄与することを目的とし、北秋田市や各関係機関との連携を図り、自立した日常生活及び療養生活を営む上で支援を必要とする者の生活の質の向上と、地域における認知症ケア体制及び地域医療体制の充実に図るため、これに関する相談助言・情報提供事業、地域交流、調査研究事業及び介護技術等研修事業を行うとともに、次に定める各事業を実施する。

- (1) 介護員養成研修及び地域介護講座等の介護技術等研修事業
- (2) 医療、福祉、介護等に関する相談助言・情報提供事業及び地域交流事業
- (3) 食の自立支援事業（配食サービス事業）、要介護認定調査事業及び介護予防ケアマネジメント業務等の受託
- (4) 障害者総合支援法に基づく障害福祉サービス事業
- (5) 介護保険法及び健康保険法等に基づく介護・看護サービス事業
- (6) 介護用品貸与及び販売、弁当等の外販、介護タクシー等の有償福祉サービス事業
- (7) その他この法人の目的を達成するために必要な事業

- 3 所管官庁に関する事項 秋田県 健康福祉部 長寿社会課

- 4 はあとサポーター会員登録者数 ※<>内は前年度比

会員区分	会員数
普通会員	97名<-8名>
特別会員	4団体<+1団体>

- 5 主たる事務所の状況

主たる事務所 : 秋田県北秋田市大町8番23号

6 役員等に関する事項（理事4名、監事1名、評議員6名）

平成29年3月31日現在

役職	氏名	常勤・非常勤	担当職務・現職等
理事長	松橋雅子	非常勤	設計室主宰 建築士 会計責任者
常務理事	田中昇	常勤	法人事務統括、出納責任者 法令遵守責任者（介護保険）
常務理事	近藤テイ子	常勤	フードセンターたかのす 管理者 法令遵守責任者（障害福祉）
理事	成田康子	非常勤	医療法人 看護師長
監事	桜庭秀孝	非常勤	農業 鷹巣町農業協同組合役員
評議員	佐々木孝夫	非常勤	元社会福祉法人役員 行政に関する知識を有する者
評議員	鈴木静子	非常勤	自営業 地域市民団体関係者
評議員	成田京子	非常勤	自営業 地域市民団体関係者
評議員	成田元晴	非常勤	農業、元病院事務局長 行政に関する知識を有する者
評議員	畠山進	非常勤	無職 地域市民団体関係者
評議員	堀部健	非常勤	鍼灸師 保健医療に関する知識を有する者

7 職員に関する事項

職員数		H28年3月末比	平均年齢	平均勤続年数
男性	常勤 8名	±0名	43.0歳	14年 4か月
	非常勤 0名	—	—	—
女性	常勤 14名	+1名	43.8歳	10年 3か月
	非常勤 7名	+1名	46.0歳	2年 7か月
合計又は平均	29名	+2名	44.3歳	9年 7か月

8 許認可に関する事項 : なし

II 事業の状況

1 事業の実施状況

<実施（継続）事業>

① 介護員養成研修等及び地域介護講座等の介護技術等研修事業

平成28年9月に、医療職や介護職等を対象として医療・介護セミナーを開催した。講師はたむら内科クリニックの田村豊一先生に依頼し、「在宅医療と呼吸器疾患」をメインテーマに講演していただいた。また、平成28年10月には、「認知症について」をメインテーマとし、北秋田市主催の介護予防支援講座に当法人の役員が講師を務め、その他にも脳卒中予防や生活習慣病との関わり等についても地域の皆さん向けに講演した。

平成28年4月から7月にかけて秋田看護福祉大の看護実習を受け入れ、訪問看護ステー

ションはあとにおける現場実習を通じて、在宅療養生活されている利用者やその家族への支援方法等について、将来の医療現場従事者を担う看護学生への指導を行った。

平成28年6月から11月にかけて、フードセンターたかのすにおいて、比内支援学校生徒の現場実習等を受入れ、連携を図った。

(1) 医療・介護セミナー（公社主催）

テーマ「在宅療養と呼吸器疾患」

・・・講師：たむら内科クリニック 田村 豊一先生

(2) 介護予防支援講座（北秋田市主催）

テーマ「認知症について」・・・講師：成田 康子理事

(3) 在宅ケア実習（秋田看護福祉大 看護実習生の受け入れ）

実習生総数 : 24名（延べ72回訪問）

(4) 比内支援学校（本校及びたかのす分校） 実習生等受入れ

実習生総数 : 3名（延べ24日間）

就業体験総数 : 1名（延べ1日間）

② 医療、福祉、介護等に関する相談助言・情報提供事業及び地域交流事業

年2回発行の「はあとだより」、ホームページ及びブログ活用等による医療、介護等の情報を発信することができた。また、北秋田市のホームページのバナー広告を活用して、当法人のホームページにアクセスできるようにしており、引き続き情報発信を積極的に行っていく。はあとサポーター会員においては前年度より微減し、目標とする会費収入には至っていないため、当法人の設立目的や事業内容等に賛同いただける会員を増やしていくよう、公社としてPR方法を再考しながら、積極的に取り組んでいかなければならない。

住宅リフォームに関する相談助言、情報提供については、必要に応じて、住宅リフォームに関する必要な情報や手続き等に関するアドバイスをを行った。

地域交流事業では、「はあとガーデン」を活用し、はあとサポーターの協力のもと地域住民やフードセンターたかのす利用者、周辺地域の園児に参加していただいて植栽を行う予定だったが、あいにくの天気だったため園児の参加は見送られた形になったものの、街の一角の緑化推進、世代間交流の場を提供することができた。

<障害福祉サービス事業等>

① 食の自立支援事業<配食サービス事業>の受託（フードセンターたかのす）

(1) 総合評価

利用者一人ひとりの多様なニーズに対応し、ミキサー食や減塩食、刻み対応等によるサービス提供を心掛け、また、地区及び曜日限定による昼弁当方式での配食サービスも実施した結果、配食サービス提供数は概ね目標達成となったが、更なる実績向上のために、関係機関との連携強化、ニーズの掘り起こしに努めていかなければならない。

居宅介護支援事業所や地域包括支援センター等との連携を図り、配食時の安否確認における状況変化等について情報提供を行った。また、学校給食センターとの話し合い、情報共有を図りながら、感染症予防及び衛生管理の徹底を図った。

(2) 実績報告 ※<>内は前年度比

- ①月別平均利用者数 : 40.8名 <+7.2名>
②年間合計食数 : 22,375食 <+4,520食>
③1日平均食数 : 61.3食 <+12.5食>

② 就労継続支援B型事業 (フードセンターたかのす)

(1) 総合評価

北秋田市との指定管理者基本協定に基づき、その適正な施設管理に努めた。

今年度は、新たに2名の通所開始となったが4名の退所となり、年度末の登録利用者は17名となって、目標とする通所利用実績には至らなかった。今後、通所利用実績の向上を図っていくためには、精神障害者の心の安定を図る支援や利用者の能力に応じた作業の提供や衛生指導の徹底について取り組んでいかなければならない。

北秋田市や北秋田市自立支援協議会、北秋田市障害者生活支援センター等の関係機関との連携、情報共有を図り、今後も就労支援等に努めていく。また、市内の小学校へのきりたんぼ食材の提供や土日の弁当注文へのできる限りの対応、麺類やチキン等受注販売等にて工賃向上に積極的に取り組んだが、目標とする販売実績には至らなかった。

(2) 実績報告 (定員20名)

平成29年3月31日現在 通所利用者登録数:17名 (年間平均利用者数 17.8名)

(3) 外部研修等

- 平成28年 8月:秋田県社会就労センター協議会職員研修会 1名
10月:高次脳機能障害等に関する支援担当職員研修 1名
11月:秋田県障害福祉関係団体合同研修会 1名
平成29年 3月:障害者総合支援法関係説明会 1名

<介護・看護サービス事業>

① 訪問看護事業 (訪問看護ステーションはあと)

(1) 総合評価

医療と介護のサービスが包括的かつ継続的に提供されるように、主治医や担当ケアマネジャー及び各関係機関との連携を強化し、利用者やその家族が安心して療養生活を送ることができるよう支援した。

当ステーションの職員体制は、年間を通して充実した形でのサービス提供体制には至らなかったものの、ミーティングやカンファレンス等を通して、より事業所内の情報共有、確認作業を密にして、利用者に寄り添うケアを更に向上させて、信頼される訪問看護ステーションとしての事業展開に努めた。

また、県や市が主催する地域医療連携推進に関連する会議等に参画し、北秋田市における訪問看護体制の整備、強化につなげた。

(2) 実績報告 ※<>は前年度比

①介護保険

イ) 利用者延べ数	:	478	名 (介護予防含む)	<-21名>
ロ) 月別平均利用者数	:	39.8	名	<-1.8名>
ハ) 年間訪問延べ回数	:	2,759	回	<-383回>
二) 月別平均訪問延べ回数	:	229.9	回	<-31.9回>

②健康保険等

イ) 利用者延べ数	:	118	名	<-27名>
ロ) 月別平均利用者数	:	9.8	名	<-2.3名>
ハ) 年間訪問延べ回数	:	1,500	回	<+7回>
二) 月別平均訪問延べ回数	:	125	回	<+0.6回>

(3) 外部研修

平成28年	6月	第6回 ELNEC-J コアカリキュラム 看護師教育プログラム	1名
		第1回訪問看護ステーション協議会研修会	1名
	7月	看護管理者連絡会議	1名
		北秋田市地域医療連携センター運営協議会	1名
	8月	秋田県看護協会「地域での出前講座」	1名
	9月	災害支援ナースフォローアップ講習会	1名
	10月	福祉保健施設・事業者等看護職員研修	1名
	12月	保健師階層別(指導期)研修会	1名
平成29年	1月	北秋田市地域医療連携センター運営協議会 (訪問看護部会ワークショップ)	4名
	2月	北秋田市地域医療連携センター運営協議会 (訪問看護部会研修会)	4名
		(医療介護研修会)	1名
		北秋田市訪問看護連絡協議会	1名

② 居宅介護支援事業(居宅介護支援事業所はあと)

(1) 総合評価

利用者の家族の意向もある中で、専門職として利用者本人にとって何が一番良いのかを考え、家族にも提案しながら支援するように努め、また、利用者及び家族の意思としてサービス利用事業所を選択できるようにその情報提供に努めるとともに、在宅サービス事業所や施設等との日頃からの連携強化を図った。

年度途中から、ケアマネジャー4名体制(1名兼務)となり、利用者の受け入れ体制は整いつつあるので、関係機関から利用者をご紹介いただけるように努めていく。また、北秋田市の総合相談事業の窓口となり、業務の拡大を図りつつ、新規のご相談等を随時受け付けて、今後も信頼していただける居宅介護支援事業所を目指し、毎月行うカンファレンスやミーティング、外部研修等への積極的な参加により、ケアマネジャーとしての資質向

上に努める。

(2) 実績報告 ※<>は前年度比

①利用者延べ数：	(介護給付)	1, 109	名	<-62名>
	(介護予防)	222	名	<+5名>
②月別平均利用者数：	(介護給付)	92.4	名	<-5.2名>
	(介護予防)	18.5	名	<+0.4名>

(3) 外部研修

平成28年	6月	ケアマネジャー等研修会	3名
	9月	介護支援専門員実務研修における 実習受入に関する説明会	1名
	10月	地域で支える認知症セミナー	1名
	12月	ケアマネジャー等研修 介護支援専門員実務研修における 実習指導者に対する集合研修	1名
平成29年	3月	高齢者介護関係者のための結核対策研修会	1名

③ 福祉用具貸与及び販売事業（福祉用具レンタルセンターはあと）

(1) 総合評価

レンタル品や特定福祉用具、介護用品等のチラシを毎月作成し、各居宅介護支援事業所や関係機関に対する継続的なPR活動を行い利用者の確保に努めた。また、開業医のカウンターに専用のチラシ入れを設置させていただき、チラシにより情報提供させていただいた。販売実績では目標を達成できたものの、レンタル実績では目標達成には至らなかった。

今後も継続してサービスの質の改善に取り組み、サービス利用者、ご家族、居宅介護支援事業所等から「レンタルはあと」との契約を選択していただくためのPR活動等をさらに強化していく。

(2) 実績報告 ※<>は前年度比

①福祉用具貸与利用者

イ)利用者延べ数	:	921	名	(介護予防含む)<-11名>
ロ)月別平均利用者数	:	77.7	名	<-0.9名>

②(特定)福祉用具販売等件数

イ)販売延べ件数	:	759	件	<-213件>(うち特定福祉用具21点含む<+1点>)
----------	---	-----	---	-----------------------------

(3) 外部研修 : なし

④ 訪問介護事業（ヘルパーステーションはあと）

(1) 総合評価

利用者一人ひとりに合った「個別ケア」に努め、個人の人格や生活パターンに合わせて必要としているサービスを提供し、利用者やその家族の不安を解消して在宅生活を継続で

きている。また、内部研修やサービス提供前後のミーティング等により個別ケアや援助方法等について共通認識を持ち、事業所内で統一した形で利用者への援助に努め、次につながる信頼関係を築くことができた。

今年度の上半期は、目標としていた実績を達成していたものの、死亡等による契約終了により実績が落ち込み、その後も身体介護の訪問件数を持ち直すことができなかつたため、結果的には目標とする実績に達することができなかつたので、常に居宅介護支援事業所等との連携、情報共有を図り、急激な実績の変動にも対応できるようにしていかなければならない。

(2) 実績報告 ※<>は前年度比

① 利用者延べ数	:	5 6 0	名 (介護予防含む)	<+11 名>
② 月別平均利用者数	:	4 6 . 7	名	<+0.9 名>
③ 年間訪問延べ回数	:	6 , 4 3 4	回	<+331 回>
④ 月別平均訪問延べ回数	:	5 3 6 . 2	回	<+27.6 回>

(3) 外部研修

平成28年 6月	: 介護保険施設等集団指導	1名
7月	: 認知症ケア初任者研修	1名

<有償福祉サービス>

① 介護用品貸与生活支援事業 (福祉用具レンタルセンターはあと)

介護保険による車イスや電動ベッドの貸与ができない方等を対象に独自の介護保険外サービスとして事業展開し在宅生活を支援しているが、前年度とほぼ同水準の利用実績となっており、目標達成には至らなかつた。

② ふとん消毒乾燥サービス (福祉用具レンタルセンターはあと)

利用者の様々なニーズに対応するための事業の一つとして、地域の高齢者等が衛生的で快適な生活を送ることができるように、布団等を消毒乾燥するサービスを引き続き実施した。現状では、実績のない月もあるので、今後も診療所やクリニック等へのPRを継続し、実績向上を図っていく。

(1) 実績報告 : 18件 <-17件>

③ 弁当等外販事業 (フードセンターたかのす)

フードセンターたかのすの独自事業として、「おとどけ・まんま」「おたすけ・まんま」に加えて、週2回、「にこにこ弁当」を官公庁等に当日販売に出向き、実績向上を図った。また、地域に出向いてPRするとともに、市内の小学校のレクリエーション行事への食材提供等を行い、利用者の工賃向上を推進したものの、目標とする販売実績までは至らなかつた。

④ 介護タクシー事業 (介護タクシーはあと)

(1) 総合評価

安全、安心運行に努め、今年度も無事故、無違反で運行することができた。日々の車両点

検、アルコールチェッカーや点呼による乗務員の体調確認等を行い、常に安全、安心の運行を心掛けることができたが、年度途中から乗務員の体調不良に伴い乗務員1名体制になり、運行実績を思うように伸ばすことができなかった。

介護タクシー事業所開設から7年が経過し、北秋田市内外の地理的状況を把握した上で予約を受け付けることができた。延べ運行回数が若干減り、収入減となっているものの、突発的な依頼や長距離の依頼にもできる限り対応し、依頼者のニーズに応えるよう努めている。

また、平成29年4月から消費税増税を想定していたが延期となり、現状では料金体系の見直しを行っていない。当事業所では、開設当初からの料金体系を継続しているため、利用者にも周知されており、今後の動向を注視しながら見直しを行っていく。

(2) 外部研修

平成28年 9月：平成28年度 運行管理者等一般講習 1名

(3) 実績報告 ※<>は前年度比

①利用者延べ数 : 1,671名 <-97名>

②延べ運行回数 : 928回 <-170回>

2 重要な契約に関する事項

当期に契約した重要な契約に関して記載すべき事項はない。

3 理事会及び評議員会等に関する事項

当期に開催した理事会及び評議員会の開催日及び議案内容は以下のとおりとする。

① 理事会（全6回開催）

開催日	議案内容
平成28年 6月15日（水）	平成27年度 事業報告、決算書類及び公益目的支出計画実施報告書の承認について 定時評議員会の開催（案）について 【報告案件】 理事長及び常務理事の業務執行状況の報告について
平成28年 9月14日（水）	【報告案件】 平成28年度 実績報告について 職員手当について 最低賃金アップに伴う対応について
平成28年12月14日（水）	基本財産の取扱いについて 就業規則及び臨時職員等就業規則（別表2）の一部改正（案）について 育児・介護休業に関する規則の一部改正（案）について 臨時評議員会の開催（案）について 【報告案件】 前田公認会計士による上期会計監査報告について

平成29年 3月15日(水)	平成28年度 補正予算(案)について 役員等報酬支給規程の一部改正(案)について【否決】 平成29年度 事業計画及び予算書(案)について【否決】 臨時評議員会の開催(案)について【報告案件】 理事長及び常務理事の業務報告について 基本財産の一部処分について
平成29年 3月18日(土) 【臨時】	役員等報酬支給規程の一部改正(案)について 平成29年度 事業計画及び予算書(案)について【否決】 常勤役員の報酬月額(案)について
平成29年 3月18日(土) 【臨時】	平成29年度 事業計画及び予算書(案)について

② 評議員会(全3回開催)

開催日	議案内容
平成28年 6月27日(金)	平成27年度 決算書類の承認について 評議員の選任について【報告案件】 理事長及び常務理事の業務執行状況の報告について 平成27年度 事業報告及び公益目的支出実施報告について
平成28年12月27日(火) 【臨時】	【報告案件】 前田公認会計士による上期会計監査報告について 就業規則及び臨時職員等の就業規則(別表)の一部改正について 育児・介護休業に関する規則の一部改正について
平成29年 3月29日(水) 【臨時】	平成28年度 補正予算(案)の承認について 役員等報酬支給規程の一部改正(案)の決議について 平成29年度 事業計画及び予算(案)の承認について【報告案件】 理事長及び常務理事の業務報告について 基本財産の一部処分について

③ 会計及び業務監査

開催日	内容
平成28年 5月23日(月)	平成27年度 決算書類及び附属明細書に関する監査
平成28年 6月 3日(金)	平成27年度 会計及び業務監査並びに公益目的支出計画実施報告書に関する監査
平成28年11月 2日(水)	平成28年度 上期会計監査

4 収支及び正味財産増減の状況並びに財産状態の推移

平成24年10月1日より公益法人会計基準(平成20年4月11日 平成21年10月16日改正 内閣府公益認定等委員会)を採用しており、平成25年3月期は下半期実績となっている。

単位:千円

事業年度	平成 25 年 3 月期	平成 26 年 3 月期	平成 27 年 3 月期	平成 28 年 3 月期	平成 29 年 3 月期
前期繰越収支差額	13,849	13,990	7,916	7,797	11,884
当期収入合計	78,703	149,992	190,872	169,810	165,850
当期支出合計	78,562	156,066	190,991	165,723	170,446
当期収支差額	141	△ 6,074	△ 119	4,087	△4,596
次期繰越収支差額	13,990	7,916	7,797	11,884	7,288
資産合計	152,771	147,218	140,219	149,727	149,884
負債合計	54,143	59,196	63,887	79,933	88,184
正味財産	98,628	88,022	76,332	69,794	61,700

Ⅲ 法人の課題等

(基本方針及び具体的指針に対する評価・課題)

平成29年度から市町村事業として実施予定の総合事業について、北秋田市による説明会等で動向を確認しながら準備を進めてきた。今後も随時確認して、対象者からの依頼があった場合は、しっかりと対応できるような体制を整備しておく必要がある。

一般財団法人事業者として、利用者の尊重、人権配慮、プライバシー保護に対する意識を一層高めて、利用者や地域の皆様から評価される質の高いサービスを提供することに取り組んだ。今後も、利用者及びご家族の意向に沿ったサービス提供に取り組んでいかなければならない。

法人全体の財政基盤強化及び各事業所の収支計画の達成に向けて取り組んだ。上半期においては、訪問看護及び訪問介護事業、配食サービスを中心に実績が伸び、上半期決算にて黒字決算となった。しかしながら、秋以降、利用終了者の増に伴う訪問件数の減少等により実績が急激に悪化し、実績を回復させることができなかつたため赤字決算となってしまった。今後は、急激に実績が悪化した場合でもできる限り速やかに実績回復できるように、法人内及び関係機関との情報共有、連携を図っていかなければならない。また、公益目的支出計画において計画していた、当法人主催の「医療・介護セミナー」では、北秋田市内の専門職を対象として「呼吸器疾患と在宅療養」をテーマに開催、北秋田市主催の介護予防支援講座には「認知症について」をテーマに成田理事が講師を務める等、在宅医療の推進に貢献できた。「はあとの在宅看護・介護の取組み」作成委員会についても役員間での情報共有を図り、平成29年度以降も継続して小冊子の作成、完成に向けて準備を進めていく。

人事管理と組織の活性化については、職員の自己評価及び管理者による評価を受けて職員面接を実施したが、職員個々、各事業所の意欲向上に繋げるという点では昨年度同様不十分だったので、次年度以降については、組織の更なる活性化に繋がるような評価方法で実施する必要がある。また、各事業所で立案した職員研修計画のとおり外部研修に参加できていないケースもあり、今後は職員の研修機会の確保にさらに取り組んでいく。

新たなニーズに対応する事業展開への計画及び検討を続行するという点については、様々な情報収集、情報交換等は役員間で行っており、次年度以降も継続して具体的な計画、検討を進めて実現に向けて取り組んでいかなければならない。